

# TKCモニタリング 情報サービス説明会

9/26開催

—AM京都、PM滋賀開催—

## 金融方針の変更と会計事務所に 及ぼす影響について



TKC近畿京滋会  
会長 佐藤正行先生

人工知能、デジタル化が進んでいく中で、我々TKC会計人は高度な業務品質への要求に応えることが求められます。また、金融方針の転換がされたことで各金融機関はその方針に対して対応していくことが予測されます。**この転換の背景には、金融検査マニュアルによる金融行政側の反省があります。**金融検査マニュアルと資産査定検査、信用保証協会による100%保証が、顧客に向き合うのではなく、金融庁を向き「形式主義」「書面主義」「担保・保証主義」に変えることで、金融機関側の目利き能力の喪失に繋がったためです。そのため、金融機関の取り組み方針は以下の3つのKPIに集約されます。

- ・金融機関が主力とする企業の経営改善や成長力の強化
- ・持続可能性に懸念がある企業の抜本的事業再生や早期転廃業等円滑な新陳代謝の促進
- ・担保・保証依存の融資姿勢からの転換

現在、各金融機関と協議を重ねており金融機関に対する研修や事務所見学会も予定しております。それにより、TKC会計人の業務内容の理解を金融機関に求めるように活動しております。ただ、実際にサービスを提供するにあたって、会計事務所がそれに対応出来る事務所体制になっていないと、このサービスは失敗に終わる可能性があります。くれぐれも金融機関の利便性に資するだけのサービスとならないように、地域会としても活動を行います。各事務所がTKCモニタリング情報サービスの狙いとスキームをきちんとご理解いただきたく思っております。また、サービスが本格化する前に各事務所のKFSの実践を1件でも多く取り組んでいただくようにご協力をお願いします。

## FX2シリーズ 銀行信販データ受信機能について

来月の10月版では関与先向けFinTechサービス（銀行信販データ受信機能）の大幅なレベルアップを図ります。

- ・仕訳補正時の仕訳辞書、仕訳DB機能
- ・「仕訳を計上しない」ルールの設定
- ・仕訳訂正時の「仕訳ルール」呼び出し
- ・「取引内容」空欄の「仕訳ルール」作成機能

また、業種別システム（DAIC2、MX2、公益法人会計DB、社会福祉法人会計DB他）にも銀行信販データ受信機能が搭載されます。

FinTechサービスの運用上のポイントや各種ツールがProFITに掲載されていますのでご確認ください。また、財務エントリやFX2シリーズを利用の場合に仕訳帳からデータを切り出すことで、預金割合等の仕訳分析を行うツールもあります。今回の銀行信販データ受信機能により、既存のTKCシステムで自計化している関与先にはさらなるサービスの向上に繋げていただきたいと思います。そして、他社システムや財務エントリ利用の関与先には、新規の自計化推進の大きなチャンスだと思っておりますので、このレベルアップを是非ともお役立てください。



TKC近畿京滋会  
システム委員長  
角谷 雅子先生

## TKCモニタリング情報サービスの概要と 利用条件について

京都SCGサービスセンター  
センター長 坂口 充

TKCモニタリング情報サービスは**決算書等提供サービス、月次試算表提供サービス、最新業績開示サービス**の3つのサービスで構成されます。各サービスには利用条件が細かくございますが、共通しているのはOMS利用であることです。これは、会員先生方の事務所と金融機関及びTKC（TKCデータセンター）を繋ぐ仕組みとしてセキュリティを強固にするために、そのような条件としました。提供データはPDFやXBR L形式がありますが、提供帳表についてはサンプルや一覧をご覧いただければと思います。まずは、来月提供の決算書提供サービスと月次試算表提供サービスにご期待ください。